

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名： 佐渡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
新潟交通佐渡(株)	国仲・金丸線① 運行区間:佐和田BS～佐渡病院～新町学校前～新穂小学校前～佐和田BS  国仲・金丸線② 運行区間:佐和田BS～佐渡病院～新穂小学校前～新町学校前～佐和田BS	病院へ接続する便を抜粋した時刻表を作成し、病院や市役所の窓口で設置を行い、利用促進を図った。 学生の子バス利用を取り込むため、新規対象者(高校)に対して、中学校及び中等教育学校を通じて学生ワイドフリー定期券制度を案内し、利用促進を図った。	A	計画に位置づけたとおり、適切に実施することができた。	B (1)利用者:10,955人 (11,065人) (2)国支出:3,473千円 (3,128千円) (3)市支出:4,229千円 (3,798千円) (4)収入:2,978千円 (2,505千円) (5)収支率:27.7%(26.6%) ※括弧内は目標値  主に学生利用が多く、年度によって利用者数が変わるため、令和7事業年度は減少したが、1人当たりの支払額が増えたことにより、収支率が増えた。	路線バス割引サービス利用証や学生ワイドフリー定期券等の利用促進施策について、引き続き、PRに努める。また、路線バス時刻表にある病院の時刻を強調するなど、時刻表の工夫を行う。